

品種紹介

雪印種苗株式会社 北海道研究農場 加藤 真裕  
 牧草・飼料作物研究 I グループ

# 2026年 北海道向け サイレージ用トウモロコシの品種紹介

●ポイント

- ・ 耐病性と収量性に優れる100日クラスの「品種LG31475」が2026年から新発売
- ・ 収量性を重視する方には、2025年から販売開始の85日クラス「ネオデント・ユミル85 (品種SL19017)」と95日クラス「ネオデント・マグナス95 (品種SHY4041)」がおすすめ
- ・ 倒伏耐性を重視する方には「ネオデント・エミナ88 (品種SH14081)」と「ネオデント・アシル90 (品種SH1353)」がおすすめ

トウモロコシのラインナップに2025年より「ネオデント・ユミル85 (品種SL19017)」、「ネオデント・マグナス95 (品種SHY4041)」が、2026年より「品種LG31475」が新しく加わります。

本稿では、上記の新品種に加え、耐倒伏性に重点をおいて開発した、当社が販売する北海道向け飼料用トウモロコシ品種をいくつかご紹介します。皆様の品種選定の一助となれば幸いです。

## 2. ネオデント・ユミル85 (品種SL19017) 耐病性と収量性に優れる85日品種

当社で育成したユミル85 (写真1) は、道内試験

### 1. はじめに

新年明けましておめでとうございます。

昨年も一昨年に続いて栽培期間を通して気温が高く、トウモロコシ栽培に適した気候だったのではないのでしょうか？一方で台風や収穫間際の風雨の影響で減収に悩まされた方もいると思います。また、これまであまり見かけなかった病気が発生するようになり、様々な環境の変化を実感されている方も多いと思います。これらに加え、海外情勢など、昨今の酪農・畜産経営に影響を及ぼす要素も増えています。

多様な条件下においても、安定した自給飼料生産を実現することを目指し、当社の北海道向け飼料用



写真1 ネオデント・ユミル85 (品種SL19017)

表1 78~85日クラスの生育特性

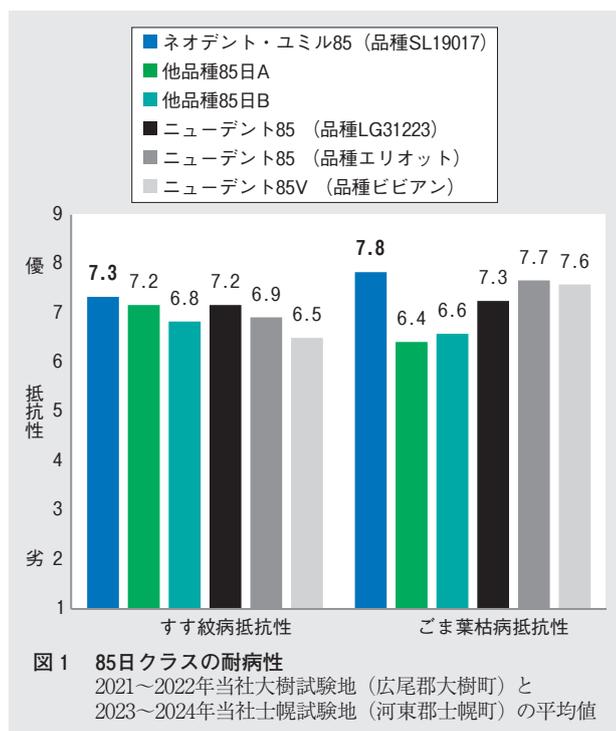
RM	品種・系統名	播種45日後 草丈	絹糸 抽出期	稈長	着雌穂高	収穫時熟度	収穫時乾物率		
							総体	茎葉	雌穂
							%	%	%
78	ニューデント78ソリード (品種Anjou227)	103.9	7/16	294	125	完	32.8	20.3	58.2
80	ニューデント80 (品種LG31207)	98.7	7/17	295	117	完	34.6	22.1	58.6
85	ニューデント85 (品種LG31223)	98.3	7/19	312	129	黄後~完	35.7	22.2	58.3
85	ニューデント85 (品種エリオット)	100.9	7/18	264	129	完	33.2	21.0	58.4
85	ネオデント・ユミル85 (品種SL19017)	94.3	7/18	296	109	黄後~完	29.9	18.4	58.5

2025年当社土幌試験地 (河東郡土幌町)・大樹試験地 (広尾郡大樹町) の平均値

研究機関における試験では収量性などが評価され、2025年に北海道優良品種に認定されました。北海道統一RMが総体85、雌穂81となっています。従来の当社85日品種と比べると少し晩生な品種です（表1）。緑度保持に優れる点も本品種の特徴のひとつです。

### （1）耐病性について

本品種はすす紋病抵抗性、ごま葉枯病抵抗性共に優れた品種です。すす紋病に対しては他品種並の抵抗性を示し、ごま葉枯病に対しては他の品種と比べても優れた抵抗性を示しました（図1）。北海道優良品種に認定された際には、すす紋病抵抗性が優れる点が評価されています。一方で黒穂病抵抗性はやや劣る傾向のため、多発圃場での栽培にはご注意ください。



### （2）収量性について

当社85日品種の中で最も生収量、TDN収量が優れている品種です（表2）。雌穂収量も優れており、赤みを帯びた実をつけるのが特徴の品種です（写真2）。北海道優良品種に認定された際には、乾物収量、推定TDN収量の高さ、雌穂登熟の早さが評価されています。

### （3）栽培のポイント

ユミル85はワンホープ乳剤の利用が可能ですが、ワンホープエースODは適用不可のため、ご利用はお控えください。

また、本品種は大柄であることから倒伏耐性は並程度とあまり優れてはいません。過度の密植を避けた栽培をおすすめします。

## 3. ネオデント・エミナ88 (品種SH14081) 稔実性が良好な耐倒伏性に優れる品種

当社で育成したエミナ88（写真3）は、推定TDN収量、すす紋病抵抗性が評価され、2021年に北海道優良品種に認定されました。北海道統一RMが総体88、雌穂85となっています。



写真2 ネオデント・ユミル85 (品種SL19017)

表2 78～85日クラスの収量特性

RM	品種・系統名	生収量		乾物収量		TDN収量	乾総重中		
		総体	総体	総体	茎葉	雌穂	総体	TDN	雌穂
		kg/10a	kg/10a	kg/10a	kg/10a	kg/10a	kg/10a	%	%
78	ニューデント78ソリード (品種Anjou227)	5,702	1,858	766	1,092	1,374	73.9	58.8	
80	ニューデント80 (品種LG31207)	5,640	1,955	814	1,141	1,443	73.9	58.4	
85	ニューデント85 (品種LG31223)	5,749	2,045	793	1,252	1,526	74.6	61.2	
85	ニューデント85 (品種エリオット)	5,722	1,895	803	1,092	1,395	73.7	57.7	
85	ネオデント・ユミル85 (品種SL19017)	6,758	2,016	881	1,135	1,477	73.3	56.4	

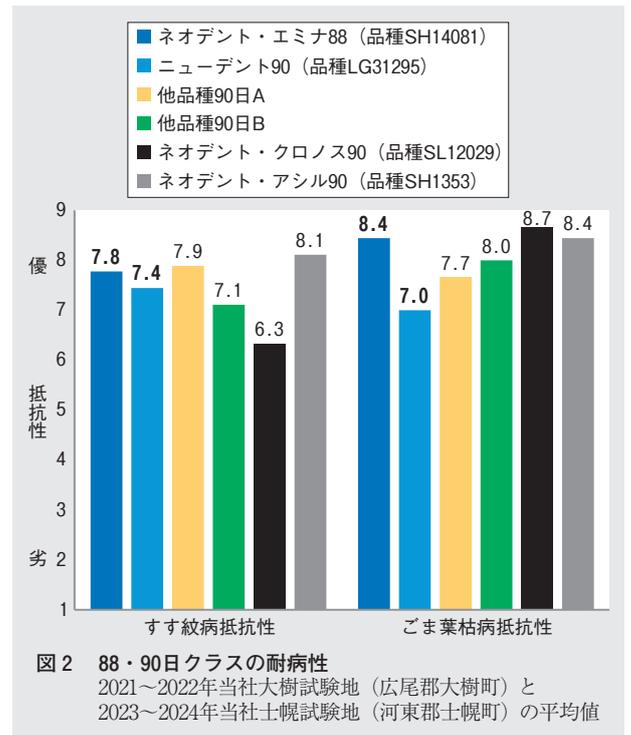
2025年当社土幌試験地（河東郡土幌町）・大樹試験地（広尾郡大樹町）の平均値、栽植本数8,231本/10a



写真3 ネオデント・エミナ88 (品種SH14081)

### (1) 耐病性について

エミナ88はすす紋病抵抗性、ごま葉枯病抵抗性に優れた品種です。当社の試験では90日の耐病性に優れたネオデント・アシル90 (品種SH1353) と同程度の成績を示しました (図2)。一方で黒穂病抵抗性はやや劣る傾向のため、多発圃場での栽培にはご



注意ください。

### (2) 倒伏耐性について

エミナ88は耐倒伏性の強さも特徴の1つです。当社の過去の試験では本品種の倒伏個体割合は他の品種に比べて低い結果となり、倒伏耐性の強さを示す

品種名	収穫時倒伏割合			
	ナビキ	倒伏	折損	合計
	%	%	%	%
(2016 清水) 調査日9/1				
ネオデント・エミナ88 (SH14081)	22.7	8.0	0.0	30.7
ネオデント・クロノス90 (SL12029)	37.4	32.0	11.6	81.0
ネオデント・アシル90 (SH1353)	46.7	5.3	0.0	52.0
他品種90日	54.7	24.7	0.0	79.3
(2016 上土幌) 調査日9/27				
ネオデント・エミナ88 (SH14081)	0.7	0.0	0.0	0.7
ネオデント・クロノス90 (SL12029)	9.3	20.0	2.7	32.0
ネオデント・アシル90 (SH1353)	3.7	0.0	0.0	3.7
他品種90日	55.2	2.2	0.7	58.1
(2016 美幌) 調査日9/27				
ネオデント・エミナ88 (SH14081)	10.3	4.3	0.0	14.6
ネオデント・クロノス90 (SL12029)	21.3	3.6	1.4	26.3
ネオデント・アシル90 (SH1353)	48.7	10.5	0.0	59.1
他品種90日	21.0	73.9	0.0	94.9
(2018 大樹) 調査日9/15				
ネオデント・エミナ88 (SH14081)	7.5	8.8	0.0	16.3
ネオデント・クロノス90 (SL12029)	11.6	32.7	2.7	47.1
ネオデント・アシル90 (SH1353)	10.0	11.4	0.7	22.1
他品種90日	11.6	50.4	3.6	65.6
2016年 当社清水試験地 (上川郡清水町)、栽植本数8,681本/10a				
2016年 当社上土幌試験地 (河東郡上土幌町)、栽植本数8,681本/10a				
2016年 当社美幌試験地 (網走郡美幌町)、栽植本数8,333本/10a				
2018年 当社大樹試験地 (広尾郡大樹町)、栽植本数8,681本/10a				

データも得られています（表3）。昨年（2025年）の9月中旬頃に暴風雨があった際、生産現場において他の品種が倒れる中で、エミナ88のみ耐えていたという報告もあがっています。

### （3）収量性について

エミナ88は雌穂登熟が早く（表4）、雌穂収量に優れることから（表5）、子実を重視したサイレージをお求めの方におすすめの品種です。先端不稔になりやすく、先までびっしり詰まった雌穂をつけます



写真4 ネオデント・エミナ88（品種SH14081）

す（写真4）。

### （4）栽培のポイント

エミナ88はワンホープ乳剤、ワンホープエースOD共に利用可能です。積算気温が低い地域では88日クラスらしい登熟の進み方をしますが、積算気温が高い地域では85日クラス並に登熟が早くなるため、地域によっては根腐病への注意が必要です。特に近年は高温年が続いているので、収穫時期の見極めにはご注意ください。根腐病罹病個体が見られた場合には早めに収穫してください。また、すす紋病抵抗性や倒伏耐性を追及して開発した品種のため、他の品種に比べ、草姿や生収量といったボリューム感で劣る点はご注意ください。

## 4. ネオデント・アシル90（品種SH1353） 耐病性と倒伏耐性に優れる安定栽培向き品種

アシル90は当社で育成した耐病性と倒伏耐性に優れる品種で、2005年に北海道優良品種に認定されています（写真5）。生産現場でも耐病性や倒伏耐性が評価され、長きにわたってご利用いただいている品種です。

### （1）耐病性について

アシル90はすす紋抵抗性、ごま葉枯病抵抗性に優れる（図2）、根腐病にも強い品種です。黒穂病抵抗

表4 88～95日クラスの生育特性

RM	品種	播種45日後 草丈	絹糸 抽出期	稈長	着雌穂高	収穫時熟度	収穫時乾物率		
		cm					総体	茎葉	雌穂
							%	%	%
88	ネオデント・エミナ88（品種SH14081）	96.8	7/19	282	106	完	32.0	19.8	57.6
90	ニューデント90（品種LG31295）	108.9	7/18	289	146	黄後	31.8	20.6	57.5
90	ネオデント・クロノス90（品種SL12029）	95.0	7/19	283	121	黄中～後	30.9	19.9	56.7
90	ネオデント・アシル90（品種SH1353）	105.2	7/19	281	131	黄後～完	27.7	17.9	54.8
95	ネオデント・マグナス95（品種SHY4041）	90.4	7/23	293	145	黄中～後	27.7	17.8	53.4

2025年当社土観試験地（河東郡土観町）・大樹試験地（広尾郡大樹町）の平均値

表5 88～95日クラスの収量特性

RM	品種	生収量	乾物収量			TDN収量	乾総重中	
		総体	総体	茎葉	雌穂	総体	TDN	雌穂
							kg/10a	kg/10a
88	ネオデント・エミナ88（品種SH14081）	6,206	1,984	834	1,149	1,462	73.7	57.9
90	ニューデント90（品種LG31295）	6,257	1,990	896	1,094	1,451	72.9	54.8
90	ネオデント・クロノス90（品種SL12029）	6,335	1,957	888	1,070	1,426	72.8	54.6
90	ネオデント・アシル90（品種SH1353）	6,474	1,781	847	934	1,287	72.2	52.3
95	ネオデント・マグナス95（品種SHY4041）	7,383	2,039	955	1,084	1,477	72.5	53.3

2025年当社土観試験地（河東郡土観町）・大樹試験地（広尾郡大樹町）の平均値、栽植本数8,231本/10a



写真5 ネオデント・アシル90 (品種SH1353)

性は劣る傾向ですが、多くの病気に対して抵抗性を備えた品種のため、病気への対策を重視する方におすすめの品種です。当社90日クラスのラインアップにおいて、最も無難な品種選定と言えます。

### (2) 倒伏耐性について

アシル90は根張りが良く、倒伏耐性に優れています。過去の試験データでもその強さが示されており(表3)、生産現場でも倒伏耐性が評価されています。本品種最大の長所は耐倒伏性の強さであるといえます。近年は大きな台風の被害はありませんが、昨年(2025年)のような突発的な強風の発生など、想定外の事態はいつ起こるかわかりません。前述のエミナ88と同様に、倒伏リスクに備えたい方におすすめの品種です。

### (3) 栽培のポイント

ワンホープ乳剤、ワンホープエースOD共に利用可能ですが、高温時のご利用はお控えください。また、エミナ88と同様に、昨今の大柄多収品種と比較すると、草姿や生収量といったボリューム感で劣ります。本品種の使い分けとしては、アシル90は病気や倒伏のリスク軽減に重点をおいていますので、収量性を重視される方は他の90日品種や後述のマグナス95をご検討ください。

## 5. ネオデント・マグナス95 (品種SHY4041) 収量性に特化した95日品種

当社で育成したマグナス95(写真6)は、道内試験研究機関における試験では主に収量性の高さが評価され、2021年に北海道優良品種に認定されました。とても大柄で優れた収量性を誇る品種です。95日クラスの品種ですが、地域によってはアシル90と同程度の総体乾物率を示すことから、少し晩生の90日品種のような扱いもできると思います(表4)。

### (1) 収量性について

収量性の高さは本品種最大の長所です。茎葉、雌穂どちらの収量性も優れていることから高TDN収量が期待できます(表5)。北海道優良品種に認定された際には、乾物収量、推定TDN収量の高さなどが評価されています。ボリューム感のある草姿に加え、太くて大きい稔実性の良い雌穂を付けることが特徴の品種です(写真7)。

### (2) 栽培のポイント

本品種はワンホープ乳剤の利用が可能ですが、ワンホープエースODは利用できません。また、根張りが優れていますが、大柄であることから倒伏耐性は優れておらず、過度な強風の際には折損のリスクが伴います。過度な密植を避けることをおすすめます。



写真6 ネオデント・マグナス95 (品種SHY4041)



写真7 ネオデント・マグナス95 (品種SHY4041)



写真8 品種LG31475

## 6. 品種LG31475 耐病性と収量性に優れた100日新品種

100日クラスからはりマグレイン社で育成された、耐病性と収量性に優れる品種LG31475が2026年より新発売になります。大きな雌穂を付ける、ボリューム感ある多収品種です（写真8）（写真9）。従来の当社100日クラス品種と比較すると少し晩生な品種です（表6）。

### （1）耐病性について

本品種はすす紋病抵抗性に優れた品種です（図3）。ごま葉枯病抵抗性についても、過去の試験では問題になるような事例は見当たりません。一方、黒穂病抵抗性はやや劣る傾向にあるので、多発圃場でのご利用にはご注意ください。

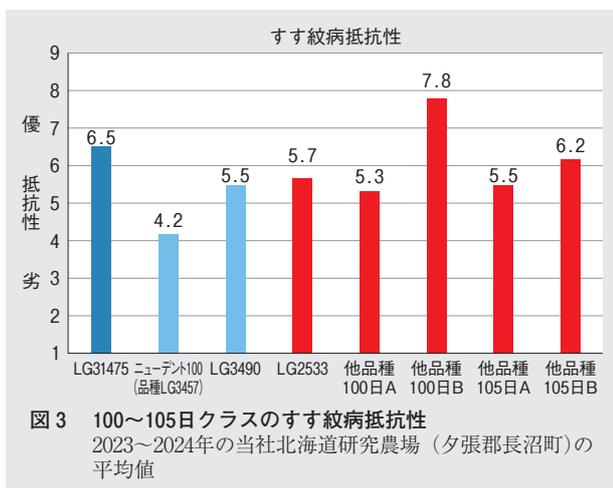


写真9 品種LG31475

表6 100～105日クラスの生育特性

RM	品種・系統名	播種45日後 草丈	絹糸抽出	稈長	着雌穂高	収穫時熟度	乾物率		
							総体	茎葉	雌穂
		cm	cm	cm	%	%	%		
100	ニューデント100 (品種LG3457)	106.6	7/29	256	108	完	36.4	24.9	57.6
100	品種LG31475	90.9*	7/30	262	116	黄後～完	32.2	20.2	53.2
102	品種LG3490	93.0	7/29	262	120	黄後～完	34.9	21.9	56.6
105	ニューデント105 (品種LG2533)	86.1	7/29	231	93	黄後～完	33.7	21.4	53.8

2023年～2024年 当社北海道研究農場（夕張郡長沼町）の平均値  
\*は2024年の単年値



## (2) 収量性について

本品種は当社100～105日品種のなかで、最も収量性に優れる品種です（表7）。雌穂収量だけでなく、茎葉収量にも優れていることから高TDN収量が期待できます。

表7 100～105日クラスの収量特性

RM	品種・系統名	生収量		乾物収量		TDN収量	乾総重中	
		総体	総体	総体	雌穂	総体	TDN	雌穂
		kg/10a	kg/10a	kg/10a	kg/10a	kg/10a	%	%
100	ニューデント100 (品種LG3457)	5,773	2,094	927	1,167	1,531	73.1	55.8
100	品種LG31475	6,955	2,238	889	1,350	1,664	74.4	60.4
102	品種LG3490	6,295	2,194	862	1,331	1,633	74.5	60.8
105	ニューデント105 (品種LG2533)	6,090	2,054	813	1,242	1,528	74.4	60.6

2023年～2024年 当社北海道研究農場（夕張郡長沼町）の平均値、栽植本数7,716本/10a

## (3) 栽培のポイント

本品種は倒伏耐性に優れるニューデント100（品種LG3457）の後継として選定した品種です。根張りは優れていますが、品種LG3457ほどの倒伏耐性は有していないのでご注意ください。また、前述の通り黒穂病抵抗性が劣る傾向にあるため、黒穂病抵抗性を重視される方は102日クラスの品種LG3490との使い分けをご検討ください。

## 7. おわりに

当社は今回紹介した品種以外にも多数の品種を販売しています。詳細につきましてはカタログをご参照ください。カタログは当社HPからダウンロードが可能です。また、品種についてのご質問、ご相談は最寄りの営業所までお問い合わせください。